

『都市の経済学 小テスト No. 1』 (1問1点、12点満点)

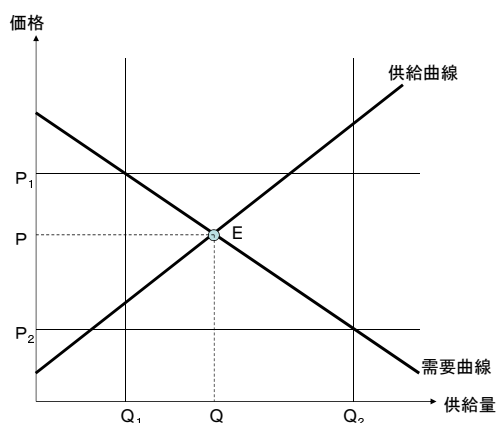
以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっているので、問題の解答番号に入る数値または選択肢番号を解答用紙（マークシート）に解答すること。

※□で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

1. 都市経済学と住宅について

- 1.1. 都市経済学が定義する「都市」は、行政・政治的な「都市」と (12 : ①同様である、②異なっている、③不明)。
- 1.2. 先進国において都市化の最も早く進んだ国は (21 : ①イギリス、②フランス、③米国、④日本) である。
- 1.3. 都市経済学の課題は、都市の諸問題における (32 : ①個別の、②相互の、③ゼロ、④都市) メカニズムを把握し、理論と政策を提示することである。
- 1.4. 都市化は、郊外部が (41 : ①拡大、②縮小、③後進) していくことと等しい。
- 1.5. 都市化は、人口密度が (53 : ①失われる、②減少する、③上昇する) 結果、土地利用の (62 : ①普遍化、②高密度化、③初期化) を進めることとなる。その結果、住宅不足・地価高騰・長時間通勤などの住宅にまつわる様々な問題が発生し、その対策として住宅・土地に関わる様々な政策が導入されることとなる。このように、住宅に関連する問題は都市の (73 : ①衰退、②多様性、③発展) と関係しており、都市について学ぶことは住宅問題の本質を知ることになる。

2. 下の図は、アイスクリーム市場の需要と供給を表しており、点 E において均衡をしている。以下の問いに答えよ。なお、回答は以下の選択肢から選ぶこと (①右シフト、②左シフト、③シフトはしない、④均衡点)



- 2.1. 以下のような変化が生じた場合、需要曲線はどのように変化するか？適切だと考えるものに丸をしなさい。

- (イ) 新しい油田が発見された (83)
- (ロ) 猛暑の夏だった (91)
- (ハ) かき氷 (代替財) が 50%off になった (102)

- 2.2. 以下のような変化が生じた場合、供給曲線はどのように変化するか？適切だと考えるものに丸をしなさい。

- (イ) アイスクリーム会社の新規参入があった (111)
- (ロ) 乳牛がかかる伝染病がはやった (122)